

安全データシート

国際連合GHSに拠る

Vita VM LC CLEANER

加工された日付: 03.03.2017

製品コード: 265-UN

ページ 1 の 7

1 化学品及び会社情報

製品識別名

Vita VM LC CLEANER

物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途

用途

実験試薬として使用

安全データシート作成者の詳細

| | | |
|------------------|---|------------------------------|
| 会社名称: | VITA Zahnfabrik H. Rauter GmbH & Co. KG | |
| 郵便私書箱: | 1338 79704 Bad Säckingen | |
| 電話番号: | +49(0)7761-562-0 | F A X 番号: +49(0)7761-562-299 |
| 電子メール: | info@vita-zahnfabrik.com | |
| インターネット: | www.vita-zahnfabrik.com | |
| 警察署・消防署への非常連絡番号: | +49-(0)761-19240 | |

2 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

国際連合GHS (ST/SG/AC.10/11/Rev.6)

危険有害性カテゴリー:

引火性液体: 引火性液体 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の刺激 2

危険有害性情報:

引火性の高い液体および蒸気。

強い眼刺激。

ラベル要素

国際連合GHS (ST/SG/AC.10/11/Rev.6)

注意喚起語: 危険

危険有害絵文字:



危険有害性情報

| | |
|------|----------------|
| H225 | 引火性の高い液体および蒸気。 |
| H319 | 強い眼刺激。 |

危険の予防

| | |
|----------------|--|
| P210 | 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。 |
| P233 | 容器を密閉しておくこと。 |
| P280 | 保護手袋および保護眼鏡 / 保護面を着用すること。 |
| P303+P361+P353 | 皮膚 (または髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 |
| P305+P351+P338 | 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |

安全データシート

国際連合GHSに拠る

Vita VM LC CLEANER

加工された日付: 03.03.2017

製品コード: 265-UN

ページ 2 の 7

他の危険有害性

情報は何もない。

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分

| CAS番号 | 化学名 | 数量 |
|---------|--|--------------|
| | GHS 分類 | |
| 64-17-5 | ethyl alcohol | 95 - < 100 % |
| | Flam. Liq. 2, Eye Irrit. 2; H225 H319 | |
| 78-93-3 | butanone; ethyl methyl ketone | 1 - < 5 % |
| | Flam. Liq. 2, Eye Irrit. 2, STOT SE 3; H225 H319 H336 EUH066 | |

HおよびEUH条項の表記: 16章を参照すること。

4 応急措置

必要な応急手当の記述

吸い込んだ後に

新鮮な空気を入れること。

皮膚に付着した後に

十分な水で洗い流すこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

目に付着した後に

眼に触れたときは、瞼を開けた状態で、長時間、眼を水で洗浄し、直ちに眼科医の診察を受けること。

嚥下後

直ちに口をすすぎ、たくさんの水を飲むこと。

最も重要な症状および作用、急性および後発性

情報は何もない。

緊急治療および特別処置が必要な兆候

症状に応じて処置すること。

5 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

二酸化炭素 (CO₂)、泡、消火用散剤。

使ってはならない消火剤

水。

物質または混合物特有の危険有害性

高い可燃性。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

消防士のための事前注意事項

火災の場合: 自給式呼吸器具を着用すること。

追加の指摘

危険区域では、従事者の保護と容器冷却のため、水を霧状に噴射すること。ガス/蒸気/霧は、水を霧状に噴射して沈降させること。汚染された消火用水は、分別して回収すること。排水管や自然水系に流入させないこと。

安全データシート

国際連合GHSに拠る

Vita VM LC CLEANER

加工された日付: 03.03.2017

製品コード: 265-UN

ページ 3 の 7

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

すべての発火源を除去すること。十分に換気すること。ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。皮膚、眼、衣服との接触を避けること。個人用の保護具を使用すること。

環境に対する予防措置

製品は、検査せずに環境中に放出してはならない。爆発危険性

封じ込めおよび浄化方法と機材

液体を凝固させる材質（砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤）を用いて、取り除くこと。その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。

他のセクションを参照

安全取扱い: 参照箇所 節 7

個人用保護具: 参照箇所 節 8

廃棄物処理: 参照箇所 節 13

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置**安全取扱い注意事項**

特別な予防措置は必要ではない。

火災および爆発防護に関するアドバイス

発火源から遠ざけておくこと - 禁煙。静電気対策を講じること。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

配合禁忌等、安全な保管条件**倉庫と容器の需要**

容器は、密閉した状態を保つこと。容器は、涼しく換気の良い場所で保管すること。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。

保管時の物質同士の両立性に関する情報

(以下のもの)と一緒に貯蔵してはならない: 酸化剤。自然発火性又は自己発熱性物質。

8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター**曝露防止****保護・衛生対策**

汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。皮膚を保護するための計画を作成し、遵守すること！休憩前や就業後は、手と顔を念入りに洗うこと、必要であればシャワーを浴びること。作業時には、飲食をしてはならない。

眼/顔面用の保護具

適切な眼の保護: ゴーグル。

手の保護具

化学物質を取り扱う際には、4桁の検査番号を含むCE表示のついた化学物質用保護手袋に限り、着用しな

安全データシート

国際連合GHSに拠る

Vita VM LC CLEANER

加工された日付: 03.03.2017

製品コード: 265-UN

ページ 4 の 7

ればならない。化学物質用保護手袋は、職場で扱う危険物質の濃度や量に応じて、適したものを選ばなければならぬ。前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。推奨される手袋製品 KCL Dermatril P 破過時間 (最大着用時間) 30 min NBR (ニトリルゴム)

皮膚の保護

適切な保護衣を着用すること。

呼吸器の保護

高濃度の箇所では、十分な換気と局所排気を行うこと。職場の技術上の換気

9 物理的及び化学的性質

基礎物理および化学特性の情報

| | 液体の | 試験方法 |
|------------------|-----|---------------------------|
| 物質の状態: | 無色 | |
| 色: | | |
| pH値: | | 確定されていない |
| 状態の変化 | | |
| 融点: | | 確定されていない |
| 沸点, 初留点及び沸騰範囲: | | 78 °C |
| 引火点: | | 13 °C |
| 引火性 | | |
| 固体: | | 非該当 |
| ガス: | | 非該当 |
| 爆発下限: | | 確定されていない |
| 爆発上限: | | 確定されていない |
| 自然発火温度 | | |
| 固体: | | 非該当 |
| ガス: | | 非該当 |
| 分解温度: | | 確定されていない |
| 酸化特性 | | |
| しない 燃焼を促す。 | | |
| 蒸気圧: | | <=1100 hPa |
| (で 50 °C) | | |
| 密度: | | 0,80000 g/cm ³ |
| 溶媒に対する溶解性 | | |
| 確定されていない | | |
| 水分係数: | | 確定されていない |
| 蒸気密度: | | 確定されていない |
| 蒸発速度: | | 確定されていない |
| その他の情報 | | |
| 固形分濃度: | | 0,0 % |

10 安定性及び反応性

安全データシート

国際連合GHSに拠る

Vita VM LC CLEANER

加工された日付: 03.03.2017

製品コード: 265-UN

ページ 5 の 7

反応性

高い可燃性.

化学的安定性

本製品を通常の常温で保管すると安定である。

危険有害反応性の可能性

知られた有害反応はない。

避けるべき条件

熱源から遠ざけておくこと (例えば、高温の表面、火花、開放火災)。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

不適合物質

情報は何もない。

危険有害性のある分解生成物

既に知られた有害分解製品はない。

11 有害性情報**毒性情報****急性毒性**

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

| CAS番号 | 化学名 | 曝露の経路 | 投与量 | 種 | 源泉、出典 | 方法 |
|---------|-------------------------------|-------|-------------------------------|---|-------|----|
| 64-17-5 | ethyl alcohol | 皮膚の | LD50(50%致死量) 7060 mg/kg | | | |
| 78-93-3 | butanone; ethyl methyl ketone | 皮膚の | LD50(50%致死量) 5000 mg/kg | | | |

刺激性及び腐食性

強い眼刺激。

皮膚腐食性/刺激性: 入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

感作性影響

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

生殖における発ガン性/変異原性/有毒性の影響

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

吸引性呼吸器有害性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

テストに関するその他のインフォメーション

この混合物はEC指令No 1272/2008 [CLP]において、危険性を有すると評価される。

安全データシート

国際連合GHSに拠る

Vita VM LC CLEANER

加工された日付: 03.03.2017

製品コード: 265-UN

ページ 6 の 7

12 環境影響情報

毒性

その製品は、(で)ない:生態毒性。

残留性と分解性

その製品は、検査されなかった。

生物蓄積性

その製品は、検査されなかった。

土壌中の移動度

その製品は、検査されなかった。

他の有害影響

情報は何もない。

詳しい情報

環境への放出を避けること。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法**廃棄の勧告**

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

汚染した包装

十分な水で洗い流すこと。汚染された包装は、物質そのものと同様に扱うこと。EAK/AVVによる廃棄物コード及び廃棄物名称

14 輸送上の注意

海上輸送 (IMDG)

| | |
|------------------------|---|
| UN番号: | UN 1170 |
| 正式の国連輸送名: | ETHANOL (ETHYL ALCOHOL) |
| 輸送における危険有害性クラス: | 3 |
| 包装等級 (P G): | II |
| 危険物ラベル: | 3 |
| |  |
| 特別な設備: | 144 |
| 量制限: | 1 L |
| 微量: | E2 |
| EmS: | F-E, S-D |

空輸 (ICAO-TI/IATA-DGR)

| | |
|------------------------|-------------------------|
| UN番号: | UN 1170 |
| 正式の国連輸送名: | ETHANOL (ETHYL ALCOHOL) |
| 輸送における危険有害性クラス: | 3 |
| 包装等級 (P G): | II |
| 危険物ラベル: | 3 |

安全データシート

国際連合GHSに拠る

Vita VM LC CLEANER

加工された日付: 03.03.2017

製品コード: 265-UN

ページ 7 の 7



| | |
|-----------------|-------------|
| 特別な設備: | A3 A58 A180 |
| 量制限-乗客: | 1 L |
| Passenger LQ: | Y341 |
| 微量: | E2 |
| IATA梱包方指示-乗客: | 353 |
| IATA最大数量-乗客: | 5 L |
| IATA梱包指示 (貨物機): | 364 |
| IATA最大数量 (貨物機): | 60 L |

環境危険有害性

環境に有害である: いいえ

使用者のための特別な予防措置

警告: 可燃性液体.

MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

非該当

15 適用法令

物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内規定情報

| | |
|---------------|-----------------|
| 従業制限: | 若年層への従業制限に注意する。 |
| 水汚染クラス (ドイツ): | 1 - 弱い水質汚染力 |

16 その他の情報

略称と頭字語の説明

ADR: Accord européen sur le transport des marchandises dangereuses par Route
(European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service

LC50: Lethal concentration, 50%

LD50: Lethal dose, 50%

HおよびEUH条項の表記(番号および全文)

| | |
|--------|------------------------------|
| H225 | 引火性の高い液体および蒸気。 |
| H319 | 強い眼刺激。 |
| H336 | 眠気やめまいのおそれ。 |
| EUH066 | 繰り返し曝露すると、皮膚乾燥またはひび割れの発生可能性。 |